

第1回 葦穂小学校・吉生小学校・柿岡小学校統合検討委員会 要旨

日 時 令和4年8月10日（水） 午後7時から午後8時

場 所 八郷総合支所 101～103 会議室

出席者 委員 14名

事務局 児島教育長，吉澤部長，柴田次長，朝賀参事，坂入課長，須加野室長
小河原副参事，雨貝補佐，森島係長，鬼澤主幹

次 第

1. 開 会
2. 自己紹介
3. 教育長あいさつ
4. 協議事項
 - (1) 葦穂小学校・吉生小学校・柿岡小学校 統合検討委員会要綱(案)について
 - (2) これまでの経緯について
 - (3) 意見交換
5. その他

決定事項等

- ・要綱が承認され，葦穂小学校・吉生小学校・柿岡小学校統合検討委員会が発足
- ・今回の意見も踏まえ、各学校で統合についての意見を集約し、統合の是非や今後の進め方について協議・決定をおこなう。

次第に沿って，4の協議事項に進む。

(1) 葦穂小学校・吉生小学校・柿岡小学校統合検討委員会要綱(案)について
事務局より要綱についての説明後，承認された。

(2) これまでの経緯について
配布資料の説明。これまでの統合再編計画についての説明会の開催状況及び，参加者からの意見について資料に記載。

(3) 意見交換
(事務局)

市で示した統合再編計画について，各小学校・地域においてはどのような考えを持っているのか。

(委員)

今回は、葦穂・吉生・柿岡の3校での統合の検討組織になるが、市の計画にある、第2段階の大規模統合を最初に持ってきてはとの意見も挙がっている。

(委員)

子どもたちの教育環境を考えると、文部科学省の手引きにもあるとおり、ある程度の集団のなかで学ばせてあげることが必要ではないか。

(委員)

地域から学校がなくなるのは大きな問題ではあるが、子どもたちにとって何が良いのかを考えると、今現在も複式学級を抱え、少人数でクラス替えが出来ない状態がつづき、人間関係が固定化してしまうのはあまり良くない。

(委員)

統合によるメリット・デメリットはもちろんあるが、人が人を育てるという言葉があるように、集団のなかで切磋琢磨しながら、子どもたちには育ってほしいと考える。

(委員)

受け入れる側としては、同級生の数が増えるといった認識で、特に大きな反響はないように思える。学校・家庭・地域が一丸となって取り組んでいかないと、地域はどんどん衰退していくと思う。もし統合すると決まったなら、スピード感を持って取り組んでいくことが必要ではないか。

(委員)

賛成・反対様々な意見が出ており、まだ保護者の意見を集約できていない。次回までに、統合の是非も含めて考えを述べることができればと思う。

(委員)

同じく、意見の集約には至っていない。子どもの教育環境を良くしたいとの思いがあり、他市町村での学校統合が進んでいるのだと思う。現在、学校は災害時の避難所にもなっているので、廃校となった後の地域との関りかたも考えていかなければならない。

(事務局)

次回までに意見の集約をおこないたいとの声が挙がっている。

(委員)

どのように意見をまとめるかも重要だ。統合の賛否について、アンケートを取るかたちが良いのか。

(事務局)

最終的には、そのような形になるのかもしれないが、単純な数の集計ではなく、その考えに至った理由なども取りまとめていただきたい。その意見も踏まえ、この統合を前向きに進めていくのかどうか協議していくことになると考えている。

(委員)

どういった考えで賛成・反対なのかは重要だ。アンケートも含め、各学校の集まりのなかで、他の人の意見も聞きながら集約していくのも良いのではないか。

(委員)

今後のスケジュールについてはどのように考えているのか。

(事務局)

意見の集約にどれくらいの時間を要するか確認し、統合についての方向性が定まったのちに、具体的な統合の時期などについても協議・決定をおこないたいと考えている。

終了時刻 午後 7 時 55 分